

## 教育実践（保健体育）

体育・スポーツ分野について、理論と実技を総合的に学び、学校教育分野や社会へ応用することのできる実践力を養います。

### 1. 取得可能な資格について

#### ・公認スポーツ指導者

公認スポーツ指導者とは、(公財)日本体育協会及び加盟団体等が、公認スポーツ指導者制度に基づき資格認定する指導者で、スポーツ医・科学の知識を活かし、「スポーツを安全に、正しく、楽しく」指導し、「スポーツの本質的な楽しさ、素晴らしさ」を伝えることができる指導者です。

卒業までに指定された授業科目を修得することにより、スポーツ指導基礎資格の「スポーツリーダー」を取得することができます。また、マネジメント資格の「アシスタントマネジャー」については、養成講習会の受講が免除され、卒業年度の検定試験に合格することによって資格を取得することができます。その他、競技別指導者資格やフィットネス資格等を取得するための講習会を受講する際に、共通科目Ⅰ・Ⅱの部分が免除されます。

#### ・中学校教諭免許状（保健体育）、高等学校教諭免許状（保健体育）

小学校教諭免許状の他に、中学校、高等学校での保健体育の教師として体育を専門的に指導するための資格を取得できます。卒業までに指定された授業科目を修得し、教育実習を履修することによって資格を取得することができます。

### 2. 教員紹介

#### 伊藤恵造（いとう けいぞう）

授業は、「スポーツ社会学」、「スポーツ実習（サッカー）」などを担当しています。研究は、「地域づくりとスポーツ」というテーマにかかわる内容に取り組んでいます。具体的には、大都市郊外のニュータウンをフィールドとして、そこで暮らす人びとの地域生活の維持や生活課題の解決に、スポーツがどのようにかかわっているのか（あるいは、かかわっていないのか）を明らかにしたいと思っています。その他、「学社融合」（「学校」と「地域社会」双方にメリットを生み出す、生涯学習とまちづくりの理論と実践方法）の取り組みにも関心があります。

#### 三戸範之（さんのへ のりゆき）

主な担当授業科目は、柔道、スポーツ心理学、初等体育です。教養教育ではスポーツ実技・理論を担当しています。研究は、柔道について、技能の向上や指導法について行っています。最近では、授業に役立つよう、初心者指導や事故防止の観点から研究を行っています。柔道では、現役選手時代全日本体重別チャンピオンで、現在は柔道部の監督を務め学生と稽古をしています。指導した学生は、全日本学生大会で活躍し、国民体育大会で優勝するなどの実績を残しています。また、ロシアや中東諸国など各国で指導にあたり、国際的に選手や指導者の育成に貢献しています。全日本柔道連盟では、強化委員・コーチ、総務委員、重大事故防止総合対策委員を歴任し、柔道の発展に寄与しています。

渡邊和仁（わたなべ かずひと）

私の主な担当授業科目は「生理学」、「学校保健」、「衛生学及び公衆衛生学」、「卓球」です。講義中心の授業の中にも、からだの機能を調べる検査や応急手当の実習など、応用的・実践的な内容を取り入れながら授業を展開しています。研究では、運動中にヒトのからだの機能がどのように変化するのか、またそれがどのような仕組みによって起こるのかについて、呼吸・循環・体温などの反応を中心に研究に取り組んでいます。その成果をもとに、スポーツ活動時の安全対策強化や、健康増進・体力向上に効果的なトレーニング法の開発などへ応用することを目指しています。

松下翔一（まつした しょういち）

スポーツにおけるアスリートは、自らの能力を限界まで高めながらパフォーマンスを競うべく、各種のスポーツ特性に適した専門的体力や技術力、戦術力を身に付けますが、私は各種のスポーツパフォーマンスを効果的に高めるトレーニング理論を構築し、新しいトレーニング方法論を開発する研究や、バイオメカニクスに関する研究や授業を行っています。主に、ジャンプ力を効果的に高めるトレーニングや、技術の動作分析、指導におけるコーチングモデルの開発などを中心に、研究しています。専門種目は陸上競技（走高跳・三段跳）で、陸上競技部の監督も務めています。

松本奈緒（まつもと なほ）

主な担当授業科目は、保健体育科教育学、保健体育科教育学演習Ⅲ、初等体育ⅠA・ⅡA、スポーツ実習Ⅳ（ダンス）です。主に体育科教育という分野から教員養成に関わっています。子どもの発達段階に合わせた体育の簡易教材や保健体育教諭としてのよりよい指導法とはどんなことなのか、講義、調べ学習、模擬授業、VTR鑑賞、ディスカッション等様々な授業形態で学習できる授業を心掛けています。実技についてはダンスが専門であり、子どもにとって分かりやすいダンスの教材づくりを行い、また、県主催の現職教員を対象とした指導者講習会において講師を務めています。研究については、米国のムーブメント教育の研究、ダンスの学習者の学習内容の研究、体ほぐしの運動の事例研究、模擬授業や教育実習の省察の研究を行っています。

### 3. 授業紹介

初等体育 IC・II C 担当：三戸範之

小学校の体育で取り扱われる主要な教材について、技能を向上させ指導能力を身につけることを目的としています。段階的な練習等を用い、無理なく、上達しています。スキー実習を行い、初心者でも滑れるようになっています。



保健体育科教育学 担当：松本奈緒

体育の目標内容、保健体育教師論、各領域の特性と教材づくりについて、講義とディスカッションを中心に学習しています。現役の保健体育教諭を招き、教師になったきっかけや仕事内容についての講話も行っています。



保健体育科教育学演習Ⅲ 担当：松本奈緒

体育授業を運営・実施する実践力を身につけるために、マイクロティーチングと模擬授業を行っています。受講者は全員教師役になって、自分が立案した体育の教材について授業を行います。実施した後は協議やVTR観察での省察を行い検討します。



スポーツ実習X（柔道） 担当：三戸範之

柔道の技術を向上させ、指導法について学習することにより、柔道の実技指導能力を身につけることを目的としています。無理なく、段階的に技能を習得し、柔道の楽しさを強調しています。留学生も履修しています。

